



奥山民枝 油彩画展

いのちを描く

1月16日(土)～5月5日(水・祝)

9:00～17:30 (入館は17:00まで) 月曜休館 (祝日の場合は翌火曜日)

一般700円(前売り500円) 中・高・大学生300円

団体など500円 *20名以上の団体、身体障害者手帳提示の際の割引料金

前売りチケット販売所: なかた美術館・啓文社主要各店



なかた美術館

特別協力: 東京オペラシティ文化財団

後援: 尾道市・尾道市教育委員会・尾道ケーブルテレビ株式会社

尾道エフエム放送・株式会社山陽日日新聞社・株式会社啓文社

奥山民枝 油彩画展

いのちを描く



1.

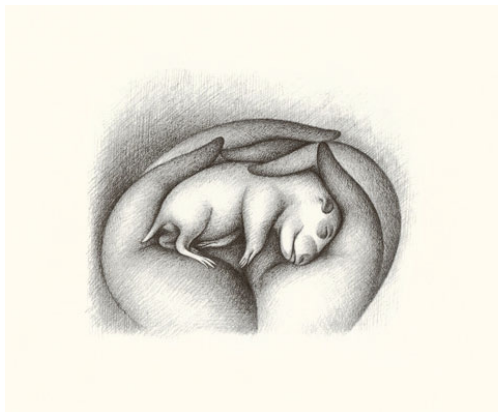
日本の現代美術を代表する作家の一人であり、尾道大学芸術文化学部で後進の指導にもあたる奥山民枝の画業を回顧する展覧会です。奥山は20代から欧州・中近東・南北米など世界各地を旅し、そこで得た感銘や自身の宇宙観を軸に、独自の技法と題材で一貫して“いのち”に対する感動や神秘を表現してきました。この展覧会では、異国情緒あふれる動植物を描いた初期の作品、命に対する慈しみを艶やかな筆致で描き出した鉛筆画「手のなかのいのち」シリーズ。簡明な構図で山や太陽の姿を描いた作品群まで、東京オペラシティアートギャラリーの所蔵品を中心に、版画や日本画の素材を使った作品なども交えた全100点を一堂に展示し、彼女の深い精神性をもつ世界を存分にご紹介いたします。



2.

【奥山民枝 略歴】

- 1946年 戦時疎開先の新潟県旧高田市生まれ、以後東京
- 1969年 東京芸術大学美術学部卒業
スペイン王立サン・フェルナンド美術大学名誉留学生となる
- 1971年 欧州・中近東・アジア諸国を巡るユーラシア大陸横断旅行
- 1978年 個展（東京、シロタ画廊）インドネシア諸島を旅行
- 1979年 六人の'79～'81展（東京、77ギャラリー）～1981年
イースター島、ガラパゴス諸島を含む南米大陸一周の旅
- 1986年 画集「奥山民枝 旅化生」出版（美術出版社）
- 1987年 朝日新聞朝刊小説「黄色い髪」挿絵連載
- 1991年 第35回安井賞受賞
- 1996年 光州国際美術展招待作家（韓国光州市立美術館）
- 2000年 画集「吸|進」出版（美術出版社）
個展「進」（東京、日本橋三越）
- 2002年 個展「Le Soleil」（パリ、ギャルリ・ヨシイ）
- 2003年 「醜い花」出版 挿絵を担当（岩波書店）
- 2005年 尾道大学芸術文化学部教授に就任。以後、広島県尾道市在住
「山水戀圖」出版（岩波書店）



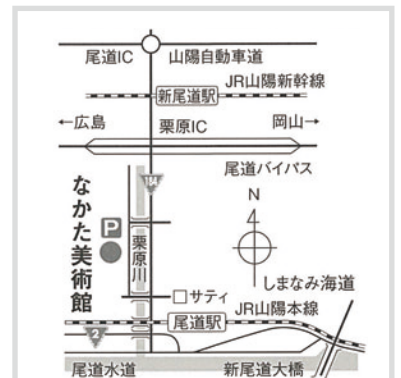
3.

表，天海（東京オペラシティアートギャラリー蔵）

- 1. シリーズ吸：山季（東京オペラシティアートギャラリー蔵）
- 2. 花畑（東京オペラシティアートギャラリー蔵）
- 3.4. 「手のなかのいのち」シリーズ（作家蔵）



4.



【交通】

JR山陽本線 尾道駅より徒歩15分
車3分 / バス【桜土手経由全便
「なかた美術館前」下車】

JR山陽新幹線 新尾道駅より
車7分 / バス【因島(土生港)行き
【桜土手経由尾道駅行き】



なかた美術館

tel.0848-20-1218 広島県尾道市潮見町 6-11
http://nakata-museum.jp/